

# 注意欠如 / 多動症 (AD/HD) をもつ母親の育児の特徴に関する文献検討

網野裕子\* 沖本克子\*

**要旨：**本研究は、注意欠如 / 多動症（以下、AD/HD）をもつ母親の育児に焦点をあてて文献検討を行い、その育児の特徴と課題を明らかにすることにより、日本における AD/HD をもつ母親への育児支援に対する示唆を得ることを目的とした。「AD/HD をもつ母親」「育児」の記載がある 25 文献を対象とし、AD/HD をもつ母親の育児の特徴について、類似のものを集めてカテゴリー化した。その結果【子どもに対する否定的なかかわり】【子どもに対する良好なかかわり】【低いモニタリング力】【子どもへの影響】【育児に対する母親のネガティブな知覚】【ソーシャルサポートに対する満足感】の 6 カテゴリーが抽出された。日本を対象とした研究は 2 件であった。また、支援に関する研究は 1 件のみであった。今後、日本において、AD/HD をもつ母親の育児に関する研究の蓄積を図るとともに、支援に関する研究も必要であることが示唆された。

**キーワード：**注意欠如 / 多動症、AD/HD、母親、育児、子どもへの影響

## I. はじめに

日本における発達障害に関する研究は 2000 年頃から増加してきた。2005 年には発達障害者支援法が施行され、2016 年に同法の一部が改正された。これらにより、子どもの発達障害に関する理解や認識が広がり、発達障害児とその家族への支援体制は急速に整えられている（玉川他：2015）。しかし、現在育児をしている母親の幼少期は、発達障害についてあまり知られていなかった時期であり、診断や支援を受けて育っていない者が多い。

注意欠如 / 多動症（以下、AD/HD）は、同法 2 条において、自閉症、アスペルガー症候群その他の広汎性発達障害、学習障害とともに、発達障害に位置づけられている。AD/HD の疾患概念は不注意、多動性、衝動性の 3 種の主症状によって定義されており（齊藤他：2016）、成人期 AD/HD の有病率は、アメリカでは約 4.4%（Kessler 他：2006）、日本では約 2.09%（内山他：2012）とされている。

AD/HD をもつ母親は、思いつきで行動する、子どもの行事を忘れてしまう、子どものお迎えを忘れてしまうなど、不注意症状を訴えることがある（中村：2012）。1999 年には男女共同参画社会基本法が制定され、男女平等をうたわれているものの、いま

だに「家事育児は女性が行うもの」という社会通念がある。これらのことから、AD/HD をもつ母親本人は育児に悩み苦しんでいるのに、周囲がなかなかフォローしてくれないという状況に陥りがちとなる。また、AD/HD は遺伝性が強く、遺伝率は最大 80%とされる（中根：2008）ことから、自分も子どもも AD/HD をもつと、育児困難はさらに増強すると考えられる。

近年、諸外国においては AD/HD をもつ母親の育児に関する研究が蓄積されてきている。しかし、日本においては AD/HD をもつ母親の育児に関する研究が進んでおらず、調べられる限りでは、母親の不注意・多動-衝動性と育児困難の関連について調査した武市ら（2004）の研究と、母親の発達障害特性と児童虐待の関連を調査した Fujiwara ら（2014）の研究のみであった。育児や支援に関しては、諸外国と日本の文化の違いによって、異なる部分が出てくると考えられる。

そこで本研究では、AD/HD をもつ母親の育児に焦点をあてて文献検討を行い、その育児の特徴と課題を明らかにすることにより、日本における AD/HD をもつ母親への育児支援に対する示唆を得ることを目的とした。

\*岡山県立大学保健福祉学部看護学科

〒719-1197 岡山県総社市窪木111

## Ⅱ. 用語の操作上の定義

育児：乳幼児（0～6才の未就学児）期の子どもを育てるときに使用されることが多いが、本研究では、乳幼児期に限定せず、子育てと同義で使用する。

## Ⅲ. 研究方法

### 1. 分析対象論文

「adult AD/HD」「mother with AD/HD」「AD/HD」「parenting」「childcare」「childrearing」「育児」を検索キーワードとして、PubMed、医中誌 Web、CiNii で文献を検索した。ヒットした 870 文献のうち、「AD/HD の母親」及び「育児」の記載がない文献と重複を除外し、20 文献とハンドサーチにより得られた 5 文献の計 25 文献を対象とした。

### 2. 分析方法

1) 25 文献について、以下の分析を行った。

- ①掲載年毎に集計を行った。
- ②研究対象国について集計を行った。
- ③育児の特徴について、類似のものを集めてカテゴリー化した。

- 2) 分析過程において、共同研究者間で合議し、また母性・小児看護領域の専門家の助言を受けた。
- 3) 倫理的配慮として、対象となる全論文を収集し、論文の論旨や意図を損なうことのないように反映させた。

## Ⅳ. 結果

### 1. 対象論文の年次推移・研究対象国

対象論文は 2002 年から存在し、2002 年から 2009 年までは 9 件、2010 年から 2017 年までは 16 件であった。一番多かったのは 2017 年の 4 件であった。

文献の研究対象国は、アメリカが 12 件と最も多く、続いてカナダが 5 件であった。日本は 2 件、イギリス・イスラエル・イラン・オランダ・シンガポール・ドイツがそれぞれ 1 件であった。

### 2. AD/HD をもつ母親の育児の特徴

AD/HD をもつ母親の育児の特徴について類似のものを集めて分類したところ、【子どもに対する否定的なかかわり】【子どもに対する良好なかかわり】【低いモニタリング力】【子どもへの影響】【育児に対する母親のネガティブな知覚】【ソーシャルサポートに対する満足感】の 6 カテゴリーが抽出された。

以下、カテゴリーを【 】、具体例を＜ ＞で示す。また、（ ）内は文献番号を示している。

#### 1) 【子どもに対する否定的なかかわり】

16 文献 24 件が抽出された。AD/HD をもつ母親は、＜一貫性のないしつけが多い＞＜効果的なしつけができない＞など、一貫性がなく非効果的なしつけ（3、4、6、9、11、17、21）を行っており、＜子どもを虐待する可能性が高い＞＜体罰のリスクが高い＞など、虐待・体罰がハイリスク（2、15、17）であった。子どもに対するかかわりは、＜次々に子どもへ命令する＞＜子どもが安心できるようなアタッチメントが少ない＞＜子どものニーズに反応しない可能性が高い＞など、サポータティブでなく（4、6、8、10、11、19）、子どもに対して厳しく支配的（16、20）であり、否定的コミュニケーション（18）を行っていた。また子どもとのかかわり自体も少なかった（4、6、7、9）。さらに、＜子どもの問題解決に関わる計画性が低い＞など、子どもの問題に対しては、いきあたりばったりのかかわり（3）となっていた。

#### 2) 【子どもに対する良好なかかわり】

2 文献 2 件が抽出された。＜AD/HD をもつ子どもに対しては積極的なコミュニケーションをとる＞＜AD/HD をもつ子どもには優しい＞など、AD/HD をもつ母親は、AD/HD をもつ子どもに対しては良好なかかわり（5、25）をしていた。

#### 3) 【低いモニタリング力】

3 文献 3 件が抽出された。＜子どもの行動を把握するのが苦手＞など、AD/HD をもつ母親は、わが子の行動を把握するのが苦手（3、9、21）であった。

#### 4) 【子どもへの影響】

5 文献 5 件が抽出された。＜子どもに不安を与える＞＜AD/HD のない子どもの学業成績を低下させる＞など、子どもへマイナスの影響（1、10、22）を与える一方、＜幼い子どもの AD/HD 症状をコントロールする＞＜子どもの AD/HD 症状の影響を緩和させる＞など、AD/HD をもつ子どもに対してはプラスの影響（5、23）を与えていた。

#### 5) 【育児に対する母親のネガティブな知覚】

6 文献 6 件が抽出された。AD/HD をもつ母親は、

表1. AD / HD をもつ母親の育児の特徴

カテゴリー	内容 ( ) 内は文献番号
子どもに対する否定的なかかわり	一貫性がなく非効果的なしつけ (3、4、6、9、11、17、21) サポートでないかかわり (4、6、8、10、11、19) かかわりの少なさ (4、6、7、9) 虐待・体罰ハイリスク (2、15、17) 厳しく支配的 (16、20) 否定的コミュニケーション (18) いきあたりばったりのかかわり (3)
子どもに対する良好なかかわり	AD/HDの子どもに対する良好なかかわり (5、25)
低いモニタリング力	わが子の行動把握が苦手 (3、9、21)
子どもへの影響	子どもへのマイナスの影響 (1、10、22) AD/HDの子どもへのプラスの影響 (5、23)
育児に対する母親のネガティブな知覚	高い育児ストレス (13、14、24) 育児困難が大きい (2) 育児満足度の低下 (7) 育児の過大評価 (12)
ソーシャルサポートに対する満足感	ソーシャルサポートに対する満足感 (7)

育児ストレスが高く (13、14、24)、育児困難が大きかった (2)。その一方で、育児満足度は低下 (7) していた。また、自分の育児に対して過大評価を行う (12) 傾向にあった。

#### 6)【ソーシャルサポートに対する満足感】

1 文献 1 件が抽出された。＜AD/HD 症状はソーシャルサポートの満足度と因果関係がない＞と、AD/HD をもつ母親は、AD/HD をもたない母親と同様に、ソーシャルサポートに対する満足感 (7) をもっていた。

## IV. 考察

### 1. AD/HD をもつ母親の子どもとのかかわりと子どもへの影響

AD/HD をもつ母親の育児の特徴でもっとも多かったのは、子どもに対する否定的なかかわりであった。AD/HD をもつ母親は、子どもの AD/HD の有無に関係なく、どの子どもに対しても否定的なかかわりをする傾向があった。また、子どもの行動を把握することが苦手など、子どもの行動に対する

モニタリング力が低かった。これらは AD/HD の主症状である不注意、多動性、衝動性によるものであると推察される。その一方、【子どもに対する良好なかかわり】は少なかった。そのうえ、良好なかかわりの対象は AD/HD をもつ子どものみであった。また、子どもへの影響においても、AD/HD をもつ子どもに対してのみプラスの影響があった。これらは、親と子の類似性が育児を改善すると予測する類似適合性仮説を検証した Dave ら (2008) の研究を支持するものである。しかし逆に、AD/HD をもつ母親が子どもの AD/HD 症状を悪化させることを明らかにした研究もある (Moroney 他: 2017)。AD/HD は遺伝性が強く、遺伝率は最大 80% (中根: 2008) とされることから、AD/HD をもつ母親の子どもは AD/HD をもつ可能性が高い。そのため、どのようなときに、AD/HD をもつ子どもに対する影響がプラスになるのか、またマイナスになるのか、研究の蓄積が必要であると考えられる。子どもに対するマイナスの影響は、見捨てられ不安や学業成績への悪影響であったが、学業成績に関しては、AD/HD のない子どものみ、悪影響があったことが報告

表2. 文献一覧

番号	著者	年代	国	タイトル	雑誌名・pp	対象	調査方法	目的
1	J. Biederman 他	2002	アメリカ	Impact of exposure to parental attention-deficit hyperactivity disorder on clinical features and dysfunction in the offspring	Psychological Medicine, 32 : 817-827.	非ADHD、寛解ADHD、および持続性ADHDの親の子ども (n=1099)	インタビュー	子どもの臨床的特徴および機能不全に対する親のADHDへの曝露の影響を調べる
2	武市知己他	2004	日本	自己チェックリストからみた母親の持つ不注意、多動／衝動性と育児困難との関連	小児の精神と神経, 44 (2) : 161-168.	1.6歳までの乳幼児の保護者 (n=2098)	アンケート	自己チェックリストが示した親の不注意や多動／衝動性の育児に与える影響について検討すること
3	Candice Murray他	2006	カナダ	Parenting in Mothers With and Without Attention-Deficit/Hyperactivity Disorder	Journal of Abnormal Psychology, 115(1):52-61.	ADHDをもつ母親(n = 30)とともたない母親(n = 30)	アンケート,観察	母親のADHDが子育て行動に及ぼす影響を調べる
4	Mandy Chen 他	2007	カナダ	Maternal Inattention and Impulsivity and Parenting Behaviors	Journal of Clinical Child and Adolescent Psychology, 36(3) : 455-468.	96対の母親と息子(4-8歳)	アンケート,観察	母親の不注意、衝動性および多動性が異なる子育て行動に関連しているかどうかを調べる
5	Lamprini Psychogiou他	2008	イギリス	Do maternal attention-deficit/hyperactivity disorder symptoms exacerbate or ameliorate the negative effect of child attention-deficit/hyperactivity disorder? Do maternal attention-deficit/hyperactivity disorder symptoms exacerbate or ameliorate the negative effect of child attention-deficit/hyperactivity disorder symptoms on parenting?	Development and Psychopathology, 20 : 121-137.	研究1 : 学童期の子ども (男児n = 31, 女児n=64 ; 平均年齢 = 7.61, SD=2.58) の母親 (n=95) 研究2 : 192対の母子 (男性 n=112, 女性n=80)	アンケート,観察	子育てにおける母親と子どものADHD症状の間の相互作用について調べる
6	Andrea Chronis-Tuscano他	2008	アメリカ	Associations between Maternal Attention-Deficit/Hyperactivity Disorder Symptoms and Parenting	J Abnorm Child Psychol, 36(8): 1237-1250.	DSM-IV ADHDを有する6-10歳の子ども (n=70) とその実母	アンケート,インタビュー, 観察	母親のADHDと育児のマルチ方法アセスメントを用いて、母親のADHD症状が不適応な育児に関連する程度を調べる
7	Sarah J. Watkins他	2009	カナダ	Sub-clinical levels of symptoms of attention-deficit/hyperactivity disorder and self-reported parental cognitions and behaviours in mothers of young infants	Journal of Reproductive and Infant Psychology, 27 (1) : 70-88.	生後2-6カ月の乳児の母親 (n=109)	アンケート	乳児の母親の準臨床レベルのADHD 症状と認知および行動の関係を調べる
8	Rivka Landau 他	2009	イスラエル	Parenting of 7-month-old infants at familial risk for ADHD during infant's free play, with restrictions on interaction	Infant Behavior & Development, 32 : 173-182.	ADHDの家族性リスクのある7カ月の男児 (n=34) の母親及び父親と、比較家族 (n=25)	アンケート,インタビュー, 観察	ADHDの家族性リスクのある7カ月の男児の34人の母親及び父親と、25人の比較家族の相互作用のパターンを研究すること
9	Brandi Ellis他	2009	アメリカ	Parenting Practices and Attention-Deficit/Hyperactivity Disorder: Partial Specificity of Effects	J Am Acad Child Adolesc Psychiatry, 48(2): 146-154.	非ADHD群,ADHD-PI群,ADHD-C群,ADHD (NOS /境界線なし) =34) 群の子ども (n=181)	インタビュー	ADHD診断や症状の領域と子育ての実践との関係を調査すること
10	Marc-Andreas Edel他	2010	ドイツ	Interaction of recalled parental ADHD symptoms and rearing behavior with current attachment and emotional dysfunction in adult offspring with ADHD	Psychiatry Research, 178 : 137-141.	ADHDを有する外来患者のうちの成人 (n=73)	アンケート	想起された親の ADHD 症状と養育様式ならびに現在のアタッチメントと感情調節能力を調査すること
11	Irina Mokrova 他	2010	アメリカ	Parental ADHD Symptomatology and Ineffective Parenting: The Connecting Link of Home Chaos	Parent Sci Pract, 10(2): 119-135.	中学生の母親 (n=311) と父親 (n=149)	アンケート	衝動、持続的な注意、および一貫性の抑制を必要とする母親と父親の ADHD 症状と育児実践の間の関連性を検討すること
12	Joyce H.L. Lui他	2013	カナダ	Parental ADHD Symptoms and Self-Reports of Positive Parenting	Journal of Consulting and Clinical Psychology, 81 (6) : 988-998.	研究1 : 8-11歳の息子 (44%がADHD)をもつ母親 (n=96) 研究2 : ADHDと診断された6-12歳の子ども (男児75%) をもつ親 (n=48,24名の両親ペア)	アンケート,観察	親の ADHD 症状が、より肯定的な子育ての自己報告と関連するかどうかを調査すること
13	Hui Mei Wong 他	2014	シンガポール	Dynamics of ADHD in Familial Contexts: Perspectives From Children and Parents and Implications for Practitioners	Social Work in Health Care, 53 : 601-616.	5つの家族ユニット (親n=8,子どもn=5,計n= 13)	半構造化インタビュー	ADHDをもつ親とその子どもの間の双方向ダイナミクスについて詳細に分析すること



番号	著者	年代	国	タイトル	雑誌名・pp	対象	調査方法	目的
14	Daphne J. van Steijn他	2014	オランダ	The Reciprocal Relationship of ASD, ADHD, Depressive Symptoms and Stress in Parents of Children with ASD and/or ADHD	J Autism Dev Disord, 44 : 1064-1076.	ASDおよび/またはADHDの子どもの174家族	アンケート	ASD/ADHD の子どもの親の ASD、ADHD、育児ストレスとうつ症状の関連について検討すること
15	Takeo Fujiwara他	2014	日本	Association of maternal developmental disorder traits with child mistreatment: A prospective study in Japan	Child Abuse & Neglect, 38 : 1283-1289.	妊娠中と子どもが約18ヶ月齢のときの母親 (n=846)	アンケート	PDDおよびADHDに関連する母親の特徴、およびそれらが子どもの虐待と関連する可能性を調べること
16	Heather Mazursky-Horowitz他	2015	アメリカ	Maternal Emotion Regulation Mediates the Association Between Adult Attention-Deficit/Hyperactivity Disorder Symptoms and Parenting	J Abnorm Child Psychol, 43 : 121-131.	コミュニティサンプルで、募集時の年齢が9-12歳の若者の母親 (n=234)	アンケート	成人の ADHD 症状と、子育てとの関係の仲介としての ER (感情調節) の困難性を検討すること
17	Irene Tung他	2015	アメリカ	Parenting Behavior Mediates the Intergenerational Association of Parent and Child Offspring ADHD Symptoms	J Clin Child Adolesc Psychol, 44(5): 787-799.	ADHDを有する (n = 61) または有さない (n = 59)120人の子どもの (67%が男児) とその実親 (90%が母親)	アンケート,観察	肯定的および否定的な育児行動 (すなわち、体罰、一貫性のないしつけ、肯定的な育児行動、観察された否定的な話、観察された賞賛) の複数の次元における個人差が、親と子のADHDの間の関連を仲介するかどうかを調査すること
18	Brian T. Wymbs他	2015	アメリカ	Child ADHD and ODD Behavior Interacts with Parent ADHD Symptoms to Worsen Parenting and Interparental Communication	J Abnorm Child Psychol, 43 : 107-119.	ADHDを有する (n = 51) または有さない (n =39)子どもの親 (夫婦) (n=90)	観察	子どもの破壊的行動および成人のADHDが、育児および両親間の関係の質を予測するために追加的または相乗的に作用するかどうかについて調査すること
19	Joanne L. Park他	2016	カナダ	Mothers' Attributions for Positive and Negative Child Behavior:Associations With Mothers' ADHD Symptoms	Journal of Attention Disorders, 1-12.	6歳から11歳の少年の母親 (n=79)	アンケート	母親のADHD症状のレベルが、肯定的および否定的な子どもの行動に対する、子ども-責任属性と関連しているかどうかを調査すること
20	Ali Karbalaee Sabagh他	2016	イラン	Adult Attention Deficit Hyperactivity Disorder and Parenting Styles	Indian J Pediatr, 83(3) : 254-257.	ADHDの子どもの親で、成人ADHDを有する親 (n=90) と有さない親 (n=120)	アンケート	ADHD の子どもをもつ大人の、ADHDの有無にかかわらない、親の育児スタイルを比較すること
21	Dara E. Babinski他	2016	アメリカ	Maternal ADHD, parenting, and psychopathology among mothers of adolescents with ADHD	J Atten Disord, 20(5) : 458-468.	ADHDの若者 (11-18歳) の母親 (n=147),ADHDでない若者の母 (n=107)	インタビュー	ADHDの若者のADHDの母親、ADHDの若者のADHDでない母親、ADHDのない若者のADHDのない母親の育児および精神病理を記述すること
22	Elizabeth Moroney他	2017	アメリカ	Externalizing Outcomes of Youth with and without ADHD: Time-Varying Prediction by Parental ADHD and Mediated Effects	J Abnorm Child Psycho, 45 : 457-470.	5-10歳のADHDの子ども (n=120)およびADHDでない子ども(n=110)の親 (n=230)	アンケート,音声分析	親のADHD症状の変化が子どものADHD症状の変化にどのように影響するかを調査すること、これらの予測のメディエーターを明らかにすること
23	Rosanna P. Breaux他	2017	アメリカ	Mediators and Moderators of the Relation Between Parental ADHD Symptomatology and the Early Development of Child ADHD and ODD Symptoms	J Abnorm Child Psycho, 45(3) : 443-456.	行動問題の有無にかかわらない3歳の子どもの (n=258、平均=44.13 か月、SD=3.39)と親	インタビュー,アンケート	親のADHD症状と幼児期の子どものADHD症状およびODD症状との関連性の媒介変数と調整変数を検討すること
24	Guillermo Perez Algorta 他	2017	アメリカ	Maternal ADHD symptoms, personality, and parenting stress: Differences between mothers of children with ADHD and mothers of comparison children	J Atten Disord, 22(13): 1266-1277.	ADHD 混合型の子どもの実母 (n=460) および ADHD のない子どもの実母 (n=237)	アンケート	ADHD 混合型の子どものもつ実母と ADHD のない子どもの実母との間で育児ストレスに有意差があるかどうかを評価すること
25	Brian T. Wymbs他	2017	アメリカ	ADHD and Depression Symptoms in Parent Couples Predict Response to Child ADHD and ODD Behavior	J Abnorm Child Psycho, 45 : 471-484.	両親カップル (n=90,そのうち51名はADHDと診断された子どもをもつ)	アンケート,観察	子どものADHD / ODD行動と親のADHDまたは抑うつ症状が、三者 (母親-父親-子ども) の相互作用の間に、育児と両親間のコミュニケーションの質を一意にまたは相乗的に予測するかどうかを調査すること

されている (Biederman 他:2002)。AD/HD をもつ子どもに関しては、支援体制が整えられてきている (玉川他:2015) が、AD/HD の母親をもつ AD/HD のない子どもに関しては、まだ研究が少なく、支援体制は不明である。しかし、AD/HD の母親をもつ AD/HD のない子どもは、AD/HD のある子どもよりも、母親の AD/HD の影響を強く受ける可能性が考えられるため、今後調査していくことが必要であろう。

## 2. AD/HD をもつ母親の育児ストレス・育児困難とソーシャルサポート

AD/HD をもつ母親は、AD/HD をもたない母親よりも、育児ストレス・育児困難が高く、育児満足度が低かった。AD/HD をもつ人は、自尊感情が低いことが報告されている (Weiss 他:1999)。これは、AD/HD の不注意や多動性、衝動性といった特性により、幼少期から「変わった」子どもとして見られ、叱られ、成功体験が少ないといったことが関係しているのではないかと考えられる。そのような自尊感情の低さをベースに、一貫性のない非効果的なしつけ、サポティブでないかかわりなど、ネガティブな育児が積み重なってゆく。そして、そのネガティブな育児が子どもにマイナスの影響を与え、このマイナスの影響を受けた子どもの不安定な姿が、さらに母親の自尊感情の低下を招き、育児ストレス・育児困難の増強につながっているのではないかと考える。また、AD/HD をもつ母親は、虐待の可能性が高い (武市他:2004、Fujiwara 他:2014) ことや体罰が多い (Tung 他:2015) との報告もあるが、育児ストレス・育児困難がそのようなマルトリートメントにつながっている可能性がある。そのため、このような負のループを断ち切る支援が必要となると考えられる。Watkins 他 (2009) は、AD/HD 症状はネットワークの大きさやソーシャルサポートへの満足度には関係しなかったと報告している。しかし、ソーシャルサポートは、文化や地域によって異なる。また、一般的には、育児ストレスラーが多い養育者ほど育児不安が高く、育児ソーシャルサポートの多い養育者ほど育児不安が低い (手島他:2003)。AD/HD をもつ母親は育児ストレスラーが多いと考えられるため、日本においても、AD/HD をもつ母親の育児ストレス・育児困難とソーシャルサポートの関連について検証していく

ことが今後必要となるであろう。

## V. 結論

1. AD/HD をもつ母親は、子どもに対して否定的なかかわりをする傾向があり、子どもの行動に対するモニタリング力が低く、子どもにマイナスの影響を与える。しかし、AD/HD をもつ子どもに対しては良好なかかわりをし、プラスの影響を与えることがある。

2. AD/HD をもつ母親は、AD/HD をもたない母親よりも、育児ストレス・育児困難が高く、育児満足度が低い。しかし、ソーシャルサポート満足度に関しては、AD/HD の有無による差はない。

3. 今後の課題として、①母親の AD/HD が子どもに及ぼす影響、② AD/HD をもつ母親の育児ストレス・育児困難とソーシャルサポートの関連について検証していくことが見出された。

## 付記

本研究は、科学研究費補助金基盤研究 (C)、課題番号 18 K 10396 を受けて実施した。

## 文献

- Brian T. Wymbs, et al (2017). ADHD and Depression Symptoms in Parent Couples Predict Response to Child ADHD and ODD Behavior. *J Abnorm Child Psycho*, 45 : 471-484.
- Elizabeth Moroney, et al (2017). Externalizing Outcomes of Youth with and without ADHD: Time-Varying Prediction by Parental ADHD and Mediated Effects. *J Abnorm Child Psycho*, 45 : 457-470.
- Irene Tung, et al (2015). Parenting Behavior Mediates the Intergenerational Association of Parent and Child Offspring ADHD Symptoms. *J Clin Child Adolesc Psychol*, 44 (5) : 787-799.
- J.Biederman, et al (2002). Impact of exposure to parental attention-deficit hyperactivity disorder on clinical features and dysfunction in the offspring. *Psychological Medicine*, 32 : 817-827.
- Kessler RC, et al (2006). The prevalence and Correlates of Adult ADHD in the United States:

Results From the National Comorbidity Survey Replication. *American Journal of Psychiatry*, 163 : 716-723.

Lamprini Psychogiou, et al (2008). Do maternal attention-deficit/hyperactivity disorder symptoms exacerbate or ameliorate the negative effect of child attention-deficit/hyperactivity disorder? Do maternal attention-deficit/hyperactivity disorder symptoms exacerbate or ameliorate the negative effect of child attention-deficit/hyperactivity disorder symptoms on parenting?. *Development and Psychopathology*, 20 : 121-137.

Margaret Weiss, et al (1999). *ADHD in adulthood, A guide to current theory, diagnosis, and treatment*. Baltimore, Johns Hopkins University Press.

中村和彦 (2012). 大人のADHDの診断・治療, 94 (8) : 1382-1386.

中根晃 (2008). 軽度発達障害の理解と疫学. *公衆衛生*, 72 (4) : 260-264.

齊藤 万比古 編 (2016). 注意欠如・多動症—ADHD—の診断・治療ガイドライン第4版: じほう.

Sarah J. Watkin, et al (2009). Sub-clinical levels of symptoms of attention-deficit/hyperactivity disorder and self-reported parental cognitions and behaviours in mothers of young infants. *Journal of Reproductive and Infant Psychology*, 27 (1) : 70-88.

武市知己他 (2004). 自己チェックリストからみた母親の持つ不注意、多動／衝動性と育児困難との関連. *小児の精神と神経*, 44 (2) : 161-168.

Takeo Fujiwara, et al (2014). Association of maternal developmental disorder traits with child mistreatment: A prospective study in Japan. *Child Abuse & Neglect*, 38 : 1283-1289.

玉川あゆみ、古株ひろみ他 (2015). 医療機関における発達障害児への看護の課題に関する文献検討. *人間看護学研究*, 13 : 35-41.

手島聖子他 (2003). 乳幼児健康診査を通した育児支援: 育児ストレス尺度の開発. *福岡県立大学看護学部紀要*, 1 : 15-27.

内山敏他 (2012). 日本における成人期のADHDの疫学調査: 成人期ADHDの有病率について. 子

どものこころと脳の発達, 3 : 34-42.

## **A Literature Review on the Parenting Characteristics of Mothers with AD/HD**

**YUKO AMINO\*, KATSUKO OKIMOTO\***

*\* Department of Nursing, Faculty of Health and Welfare Science, Okayama Prefectural University, 111 Kuboki, Soja, Okayama 719-1197, Japan*

**Keywords** : attention-deficit/hyperactivity disorder, AD/HD, mother, parenting, influence on child